



## THE LAST MESSAGE PART.2

### 大学受験という試練に挑む佼成学園高3生へ

#### 受験直前最後の一言

受験だけに限りませんが、僕が大切にしている言葉があります。

『努力した者が必ず報われるとは限らないが、成功した者はみな少なからず努力をしていた。』

受験当日は不安になると思います。

自分のやって来たことは今日通用するのか、もっと別のやり方でやったほうがよかったのではないか、色んなことが頭をよぎるとおもいます。

そんな時は佼成学園で6年間やって来たことを思い出して、誇りを持って試験に臨んで下さい。

自分達が6年間積み重ねてきた来た努力はきっと報われるはずです。

受験まで余り時間ありませんが、何かあったら声をかけてください。力になります。

では、頑張ってください！



羽田

現在というものは、過去の全ての生きた集大成である。  
(カーライル「随筆集」)

弱気にならず、自信過剰なほど強い気持ちで挑みましょう。



本多

これまで皆さんは本当に真摯に努力し、頑張ってきたと思います。しかし、これからが本当の勝負です。ここからの頑張り次第で、まだまだ実力を伸ばすことができます。この時期は非常に辛く、不安な気持ちでいっぱいだと思いますが、ここは気合いを入れ直して、今よりも一頑張り、二頑張りしましょう。

正直なところ、受験での合否は運に大きく左右されます。模試や過去問で手応えを得られていたとしても、本番でできるとは限らないし、思わぬ苦戦を強いられ、なかなか結果を出せないこともあります。(実際私がそうでした。)

しかし、仮に結果がなかなか出なくても、最後まで諦めないで下さい。皆さんがしてきた努力はきっと報われます。志望校に合格し、充実した大学生活を送る自分の姿を想像して、最後まで頑張りましょう。応援しています。



和田

三年生の皆さん。もう少しでセンター試験、そして私大入試の時期になりますね。早いものでもうすぐ自分たちの進路を決める試験が始まってしまいます。自習室を頻りに利用する生徒もそうでない人も自分たちチューターの願いは一つ。現役で合格して欲しいということ。そして合格を勝ちとって最後の高校生活を笑って最高の形で終わって欲しいということです。

そのためにもきついと思うけど最後まで努力し続けてください。絶対にあきらめないでください。諦めることは簡単だし、誰にだってできます。だけど、最後まであきらめないで粘り続けることは誰もができません。諦めたらそこで試合終了です。そこには何も残らないし、生まれるものもありません。だけど、最後まであきらめないで受験と戦い続けた人には他の人と比べものにならない強さがあると思います。決して最後まで自分に負けなかったという自信がつくと思います。つらい勉強に日々努力してきた姿を見てきた自分の知ってる自習室のみんなは春に比べて格段に強くたくましくなっています。だから最後まであきらめないで。今まで積み重ねてきた努力は自分を決して裏切らないですよ。いい報告をチューターのみんなは待ってます。誰よりも早く報告を待ってます!笑)



秋山

ついこの間まで自分が受験生だと思っていたらもう君達が戦う季節がやって来ましたね。いよいよ1年間の勉強の成果を出す勝負の天王山に近づくにあたって、いままでの受験勉強を振り返ってみてどうでしょうか。暑い夏も台風の日も君達は勉強してきたと思います。自分の努力は自分だけが一番わかっているはず、だから周りの人がどう言おうとも最後は自分自身ぐらいいは信じてあげましょうよ。本当にやってきた人には受験の神様が必ず見てくれているから、絶対にいい結果がついてきますよ。

志望校に自分の成績が足りてない人も、勉強してきたんだから絶対に君たちはやれるし十分に戦えるから! 「俺はできる」この言葉を常に念頭において志望校に「当たって砕けろ」の姿勢で最後まで全力で戦い抜き、今年も数多くの下克上を起こしてきてください。

君たちなら大丈夫だ! 一番君たちの努力を近くで見えてきた僕が言うんだから間違いない! それといままでお世話になってきた先生方、そばで支えてくれた両親への感謝を忘れずに、ぜひ「合格」という一生の戦果、財産を自習室に持ち帰ってきてください。楽しみにしています。



川上

ついに入試が目の前に迫ってきました。もしかしたら皆さんの中には「もっと勉強すればよかった」という後悔を感じている人もいるかもしれませんが。しかし、それはこの一年間頑張ってきたからこそ後悔するのです。本気になって一年間勉強しなかった人が後悔することはありません。

机に向き合い、勉強に向き合い、自分自身に向き合い……。向き合ったからこそ、そのような感情は生まれてきます。皆さんが頑張ってきた努力は決して無駄にはなりません。不安になったら自分の手を見て下さい。そしてその手が書いたものを思い出して下さい。きっと数え切れないほどの文字や単語、数字や公式が浮かんでくるでしょう。皆さんの頭にたくさんの知識が入っている証拠です。春はすぐそばに近づいています。合格という花を咲かせる桜は、ついにつぼみをつけ始めました。皆さんが笑顔で報告しに来てくれることを願っています。



迫田

センター試験を間近に控え、きっと皆さん不安や緊張が入り混じった気分だと思います。思い返してみれば、1年前の私もそうでした。

受験を終えて思ったこと、それはいかなるときにも自分を信じるということです。

いままで自分が一生懸命積み重ねてきたことを一番知っているのは、それは友達でも先生でもチューターでもなく自分自身です。積み重ねてきたことは必ず自分の身についています。

もう一つ忘れないでほしいことは、周りには応援してくれる人たちが多くいるということです。それは、家族や友達あるいは担任の先生かもしれません。

しかしそれ以上に自分のことを応援してくれる人たちは多くいます。受験は決してひとりでは戦いにいくことはできないのです。このことは是非忘れないで欲しいと思います。

どうか最後まであきらめず、自分を信じて頑張ってください。みなさんの吉報が舞い込んでくることを楽しみにしています。



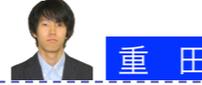
佐藤

年が明け、センター試験、私大入試がすぐそこまで迫ってきました。

皆さんそれぞれ必死に勉強してきたと思います。この苦しい戦いもあとわずかです。

皆さんの努力はきっと裏切りません。最後まで気を抜かず、全力でやりきればきっと合格を勝ち取ることができると信じてます。

私たちチューター、先生方や佼成の仲間たちと共にこの試練を乗り越えましょう。



重田

時がたつのは早いもので、あんなに遠かった大学入試や卒業、がもう手の届くところにきていますが、皆さんはどう感じていますか？緊張していますか？それともさびしいですか？

さて、みなさんへの萩原からの入試に向けたメッセージとしては、まず「いまを楽しむこと」です。

受験勉強はつらいでしょう。我慢していることもたくさんあるでしょう。しかし、入試を経て、それらが報

われる、あるいはそれらから解放されるとは必ずしも決まっていることではないと思います。でも、それを悲観するのではなく、楽しみましょう！私たちは、過去も、未来も、楽しむことはできません。楽しむことができるのはたった「いま」だけなのです。「いま」をきちんと楽しむ心持ちを持てば、すぐにではないかもしれませんが、結果はついてきます。何が起るかわからないからこそ、入試を楽しんで、臆することなく自分の精一杯の力を見せてきてください！

最後にもうひとつ。「きっと大丈夫、なんとかなる」、という気持ちも心の片隅にちょっとだけ置いてください。あせらず、ゆっくり進むことも大事です。

勉強するときに限らず、つらいときや疲れたときでも、私たちに声をかけてください。ぼくたちはみなさんの味方です。それでは、幸運を祈ります！



萩原

寒さも本番になってきましたね。皆さん準備の程はどうですか？

去年の自分を思い出すと、迫り来る受験にビビリながらもどこかワクワクしていたと思います。

私が言えることといえば、『全て終わるまで決してあきらめない』こと、です。

このセリフは多くの先生や予備校でも叫ばれていることと思いますが、これは本当です。信じていいです。少し自分のことを話すと、私はセンター入試の日大以外、全て落ちました。

安全校だと思っていた獨協大学にも落とされました。人間不合格を体験し続けると、考えてはならないことまで考えてしまうものです。当時のことを周りの友人に聞いてみると、「生気がなかった」そうです。そこまで追い詰められていたことすら自覚がありませんでした。

それでも私が諦めなかったのは、周りの先生方の応援もそうですが、やはり最後の横市が残っていたから。「もしかしたら！」という思いが心のどこかにあったから。今まで自分が努力してきたことを無しにしたくなかったからです。周りの合格報告を聞きながら勉強していました。そうしたら、結果がついてきてくれました。人生で一番嬉しかったです。諦めないでよかったと本気で思えました。

だから、みんなには「あの時諦めなければ」なんて後悔はして欲しくないんです。

結局私の言いたいことは、全ての可能性が無くなるまで、自分のことを信じて下さい。

最後まで諦めなかった人間にだけ、結果は訪れます。最後に私が好きな名言を、

“努力した者が全て報われるとは限らないが、成功した者は皆すべからく努力している”

何か相談があればいつでも自習室までどうぞ。



柿



## 編集責任者より

### ふさわしい未来

受験勉強お疲れ様です。もう残すところ後わずかですね。ここまできた最後まで諦めずに完全燃焼する気持ちで頑張ってください。

ここから先はあまり多くのことを考えずに、ひたすら我武者羅に突き進むことが大切だと思います。この段階まで来て、ちょっと調子が悪いとか、過去問があまり解けなくて不安だとか、受験に失敗したらどうしようとか、そのようなネガティブなことを心配せずに、無心で猛烈に勉強するのみです。

そうすれば、必ずや君たちにとってふさわしい結果が待っていると思います。これから先、受験が終わるまで実に様々なことが起こると思います。1月、2月には魔物が住んでいるといった過言ではないでしょう。しかし今後目の前に現れる現象は、全てみんなにとって必要な現象なのです。どんな現象にしろ、どんな結果にしろ、起きたことが自分にとって必要なものなのだ、ありのままを受け入れることがとても大切なことだと思います。

必ず合格してやるという強い気持ちを持って受験に臨んでいくことはとても大切なことです。しかし受験の合否が、君たちの直接的な成否かどうかはわからないことです。頂いた結果そのものを、自分の最高の未来なのだ信じてほしいと思います。

皆さんにとってふさわしい未来が必ず待っています。だから今は何も恐れることなく、堂々と受験に立ち向かえばいい。

これが先生からのファイナルメッセージです。

小塩雅一

2011年の5月からお届けしている自習室通信も、いつの間にかVol. 17になりました。本校チューターの受験・勉強などの経験談を中心に編集してきた内容も、受験生へ向けて最後のメッセージを掲載するに至りました。長い間お付き合いいただきありがとうございます。

大学受験へ向けてのこの1年は、長く厳しいものだったと思います。1年といわず、高校の3年間、気を抜かずに勉強してきたという人もいるかもしれません。入試ではその全てを発揮しなければいけないわけですから、緊張もするし、不安にもなると思います。

ですが、このステップは長い人生の中で、皆さんが初めて自分だけの力で歩きだす、たった一歩目です。これからは全てが、自分で勝ち取らないと始まらないという世界です。大学という勉強をする環境も自分で勝ち取らなければいけないし、大学の教授からどれだけの知識を得るか、その知識をどれだけ自分のものにするか、全てが自分にかかっています。そんな世界に一歩踏み出すのだから、腰をすえて、自分を信じて、細かいことなんか気にせず、大きな気持ちで立ち向かってください。

一人で進まなければいけない一歩ですが、一緒に進む仲間や、助けてくれる人達はすぐ側にいます。全力でやったなら、その一歩に失敗なんてありません。先輩達に続いて今年も思い切り暴れてください。

フェロー 鶴藤千華